



山武フレンドリー株式会社

〒251-8522 神奈川県藤沢市川名 1-12-2 TEL 0466-20-2108

自信と勇気が湧く職場づくり 知的障害者の職場定着と動機付け

事業の概要

■沿革 平成10年4月、(株)山武が100%の出資で設立。同年5月、特例子会社としての承認を受ける。
平成10年4月、職場10名からスタートし現在12名の障害者を雇用している。知的障害者のみに限定し、工場内の周辺作業に従事している。

■従業員数 15名 うち障害者12名 (平成12年2月1日現在)

視覚障害者	聴覚障害者	肢体不自由者	内部障害者	知的障害者	精神障害者	その他
—	—	—	—	12 (6)	—	—

()内は重度障害者

■事業内容 サービス業 (清掃、社内メール集配、コピーサービス、部品副組付他)

改善の概要

改善の背景

親会社では積極的に障害者雇用を果たし、法定雇用率をクリアしている。しかし、知的障害者の雇用は進んでいなかった。

障害者との協業をめざして創業した会社であり、知的障害者についても個人個人を理解・把握し、適切な指導をし、能力を発揮できる環境づくりが必要だった。

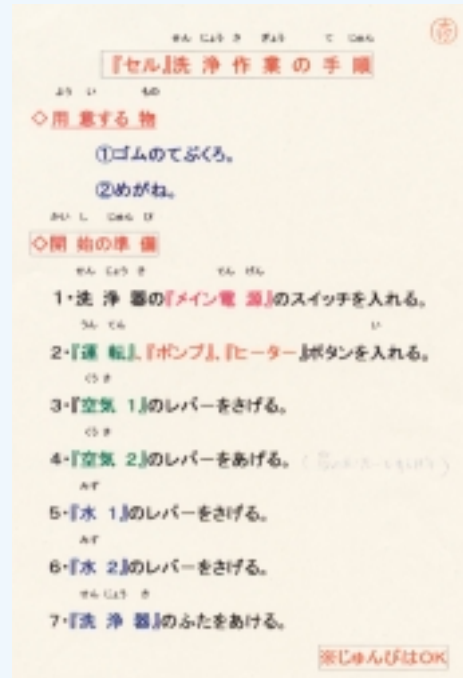
そこで下記の改善を行った。

改善の内容

- コミュニケーションを大切にする朝礼・終礼の実施
- 業務日誌の改善
- 作業マニュアルの改善

3 作業マニュアルの改善

- ・漢字にかなをふる。
- ・読みやすく、見やすく、理解しやすくする。
- ・小さな手順でも内容に織り込む。
- ・作業ミスの防止を目的とした「確認表」を作成。各自が作業完了時点で押印、チェックする仕組みを作った。
- ・社内メール、清掃業務については、仕事の内容を標準時間で表示。予定時間内に仕事を進められるように「基準運行表」を作成。



1 自信を持って発言・報告ができた

- ・自分の感情や仕事内容等をうまく表現できなかった社員も、自信を持って発言や報告ができるようになった。
- ・「ほうれんそう」(報告・連絡・相談)が徹底できるようになった。
- ・表現力が増し、会話や人前での話ができるようになった。
- ・仲間意識が生まれ、元気や自信を持てた。

2 自己管理意識、能力向上意識の高まり

- ・毎日、各自の目標と達成度をくり返すことで、自己管理意識、能力向上の意識が芽生えた。個別の目標設定によって、きめ細かな指導も可能になった。

3 苦手意識の克服

- ・具体的な目標を掲げることで「何をどうがんばればいいのか」を理解し、苦手な部分にも抵抗なく取り組めるようになり、能力の向上にもつながった。
- ・日誌の改善により、最も苦手だった「書いてまとめる」ことが習慣づき、苦手意識を克服。

4 仕事に対する自信と達成感

- ・作業マニュアルの改善により、指導者がいなくても社員だけで作業を遂行できるようになり、仕事に対する自信と達成感を持てるようになった。
- ・作業種類の幅が広がり、業績向上につながった。

5 親会社の職場風土にも影響を与えた

- ・明るく規律正しい職場環境に親会社も影響され、ゴミのポイ捨てがなくなり、社員間の挨拶が生まれ、社内便の宛名書きが丁寧になる等の改善がみられるようになった。
- ・詳しく書かれたマニュアルは、親会社の社員にも「わかりやすい」と好評である。